



小金・ニュースレター

～世帯に潜む困りごとに向き合う！！～ 第8号

松戸市では、個別事例について話し合う『地域個別ケア会議』と、地域課題について話し合う『地域包括ケア推進会議』、地域の課題を市全体で共有し話し合う『松戸市地域ケア会議』があります。

このニュースレターでは、小金地区の会議で話し合われた内容をもとに、地域の皆様にお伝えしたい様々な情報を掲載しております。

【令和6年度第2回小金地域包括ケア推進会議参加機関】 町会・小金地区社会福祉協議会・小金地区高齢者支援連絡会・小金北部南部民生委員児童委員協議会・松戸市医師会・松戸市訪問看護連絡協議会・松戸市リハビリテーション連絡会・松戸歯科医師会・松戸市薬剤師会・特別養護老人ホーム・元気応援クラブ・小金基幹相談支援センターおんぷ・松戸市健康推進課・地域共生課・男女共同参画課・居宅介護支援事業所・松戸市地域包括ケア推進課・小金高齢者いきいき安心センター 他

第8号 令和6年12月作成

編集・発行
小金高齢者いきいき安心センター
(小金地域包括支援センター)
松戸市小金3番地
高橋ビル4階

TEL 047-374-5221
FAX 047-349-0560

地域に潜む困りごと

身近な人の困りごとに気づき、やさしく支え合う地域を目指して

ビジネスケアラー

仕事(ビジネス)をしながら
介護(ケア)をする人

老々介護

高齢者の介護を
高齢者が行うこと



ヤングケアラー

ケアを必要とする家族がおり、
大人がおこなうような
世話や責任を担っている
18歳未満の子ども

あれ？
自分のこと？



認認介護

高齢の認知症患者の介護を
認知症である高齢の家族が行うこと



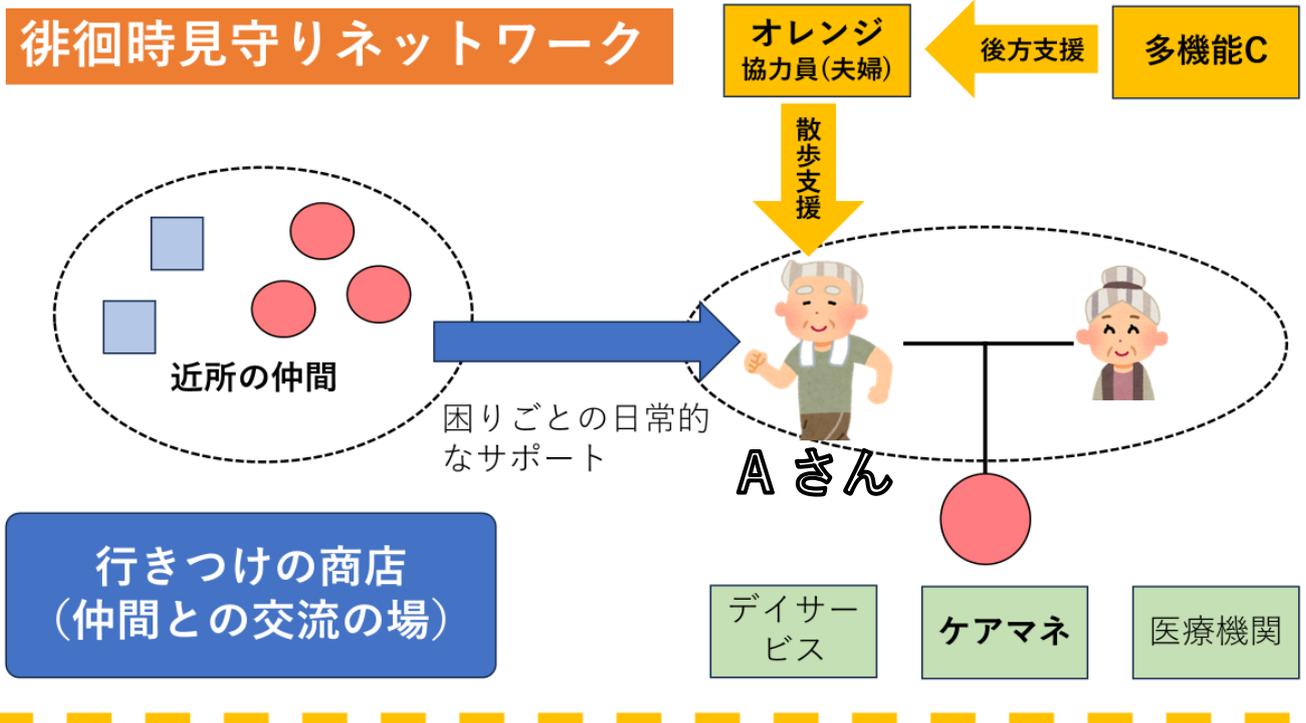
ダブルケア

育児と介護を同時に
行う必要がある状況

障がいの理解

「身体障がい」「知的障がい」
「精神障がい」

徘徊時見守りネットワーク



老々介護のAさん夫婦

Aさんは外出が大好きで、奥さんや近所の仲間と近くのお店でよく一緒に食事をしていました。

時間の感覚が分からなくなってしまったAさんは、夜中にも一人で外出する様になりました。世間では徘徊と言っていますが、本人はしたいことをしているだけ。止められると怒ってしまいます。

本人が、知らない間に出て行くたび、奥さんや離れて暮らす子どもは探し回らなければいけません。

Aさんを地域で支えるため

顔の見える関係が、徘徊中の本人を素早くキャッチ
行方不明になる前に一緒に帰宅

本人が散歩に行きたいタイミングに合わせて
オレンジ協力員が散歩支援

高齢者見守りシールの登録
(松戸市高齢者支援課・地域包括支援センターで申し込めます)

ケアマネジャーが
医療機関・介護サービス事業所と連携

昔は、主人と近所の人と一緒にお茶をしてお話していたんですけど、私は足が悪くて・・・、元気で外出が大好きな主人についていけなくなってしまったの。

子どもや近所の人やオレンジ協力員の方が支援してくれて、本当に感謝しています。



複合的な困りごと(ダブルケア・障がい者)のある B さん家族

B さんは離婚し精神疾患のある次男と2人暮らしでした。

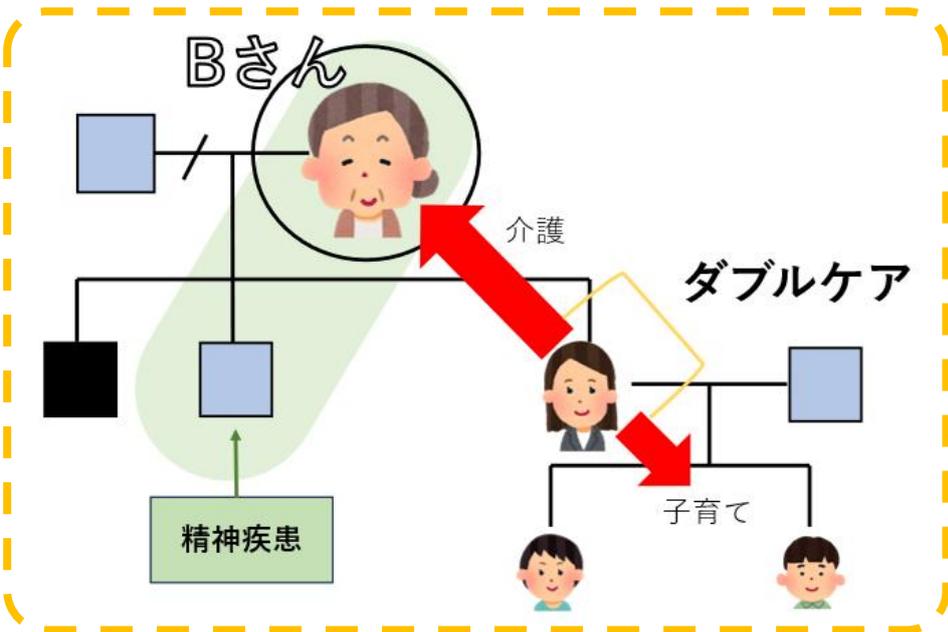
長男は身体障がいで早くに亡くなりました。

長女は子育て中です。

B さんは、物忘れが進み、お財布をよく無くし、ゴミ出しが出来なくなりました。

次男の精神障がいも、受診が途絶え悪化してしまいました。

育児中の長女が B さんと次男の面倒も見ることになりました。



長女が置かれている状況

お父さんがいたら、
こんな時、
頼れたのかな？

上のお兄ちゃんがいた時は
お父さんもお母さんも付きっきり
で介護してて、下のお兄ちゃんが精
神疾患にかかってからは、お母さん
はその対応に必死で・・・
もう、お母さんが暮らしたい
ように暮らしてくれれば
いいけど・・・



親と子どものダブルケア

障がいを持った兄弟への支援

介護者の孤立

介護者は、介護負担だけでなく、孤立感を抱えていることもあります。同じ悩みを話し合えたり、育児や介護のことを忘れて気分転換できたり、困りごとを相談できる場所が必要です。



| 相談窓口 | 電話番号 |
|--------------------------------|--------------|
| 介護に関する相談窓口:小金地域包括支援センター | 047-374-5221 |
| 障害に関する相談窓口:小金基幹相談支援センターおんぱ | 047-712-2112 |
| 母子の健康・子育て相談に関する相談窓口:小金保健福祉センター | 047-346-5601 |
| ヤングケアラー相談専門ダイヤル(子ども家庭センター内) | 047-701-8600 |



人に話すと心が軽くなることも・・・ ちょっと出かけてみませんか？



「小金わくわく農園」は多世代まるごとの居場所づくり「まつど DE つながるステーション(地域の中での孤立防止を目指す取り組み)」の小金地区版として令和4年4月からスタートしております。

実行委員会を中心に運営していますが、年度末にはタウンミーティングを開催し、参加者とともに次年度計画を考えています。運営側と参加者の垣根を越え、皆が主体的に関わることで「自分の居場所」という実感がより強まっているようです。

「楽しい」とおして地域への愛着を育むとともに、「また今度ね。」と言い合える関係と場所を作っていきます。詳細はホームページでご確認ください。ご参加お待ちしております。
松戸市地域共生課



小金わくわく農園ホームページ
QRコード
ホームページ



女性のための居場所 「野の花カフェ」

「野の花カフェ」は、心を休めてゆっくりお茶を飲んだり、参加者と交流したりできる女性のための居場所です。

毎月1回、男女共同参画センターゆうまつど(松戸駅西口から徒歩5分)で開催しています(申し込み不要・参加無料)。

1人でも誰かと一緒でも、子どもやパートナーの有無、年齢に関わらず女性ならどなたでも参加できます。お楽しみ企画で小物を作ったり、参加者同士でおしゃべりしたり、過ごし方は自由。困りごとや悩みをスタッフに相談することもでき、必要に応じて相談機関などのご案内もしています。会場内にはキッズスペースもあり、子どもを見てもらいながら自分の時間を過ごせます。

毎月開催時間やお楽しみ企画を変えて開催していますので、詳細・日程は広報まつどやホームページでご確認ください。

問松戸市男女共同参画課 047-364-8783



ゆうまつど
ホームページ

子育て世代向けに こんなサポートがあるのをご存じですか？

「ダブルケア」では、介護者ご自身の家庭の乳幼児の育児・家事を担いながら、要介護者家庭の介護・家庭調整を同時に担い、時間や体力、精神面で非常に負担が大きい状況に置かれています。

保健福祉センターでは介護者自身の健康と育児・介護への思いを大切に、どのような母子保健サービスが良いか一緒に検討します。例えば要介護者の受診同行等のため子どもの預け先が必要な場合には、保育所やほっとる一むへの一時預かりやファミリーサポートによる育児支援があります。また介護者家庭への家事支援が必要な場合にはまつドリベィヘルパーが、一時的に家庭での育児が困難な場合にはこどもショートステイ制度もあります。

利用できる制度はお子さんの年齢やご家庭の状況によっても異なるので、一人で抱え込まず相談窓口にご相談してください。

高齢者いきいき安心センターは、概ね65歳以上の方の総合相談窓口です。(主な相談内容：認知症・介護保険・介護予防) 保健師・看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員等がいます。気軽にご相談ください。



小金高齢者いきいき
安心センターHP
QRコード

【相談窓口】

小金保健福祉センター 047-346-5601

親子すこやかセンター小金 047-346-6066

子育て情報 LINE 公式アカウントが、令和6年10月から全市民向けになり、リニューアル！！
皆様に役立つ情報が満載。ぜひご登録ください。



松戸市公式 LINE アカウント

※QRコードをスキャンするとLINEの友達に追加されます。
詳細は、松戸市HPに掲載されています。
「松戸市公式LINE」で検索してください。

小金高齢者いきいき安心センター

【住所】松戸市小金3番地 高橋ビル4階

【電話】047-374-5221

【FAX】047-349-0560

【URL】https://seishikai.net/kogane_center/